

—薬物乱用防止講演会を開催—
～ドーピング問題についても学びました！～

12月13日(水)。日中の最高気温が6℃と厳しく冷え込む中、箕島校舎格技場において、湯浅保健所から薬剤師の榎本章さんをお招きして、1年生を対象に薬物乱用防止講演会を開催しました。冷え切ったフロアに空手部からお借りしたマットを敷き詰め、寒い中ではありましたが、充実した講演会となりました。

本校がスポーツコースを設置し、体育部活動が盛んであるということで、講演の冒頭に開催が近づく韓国：平昌（ピョンチャン）冬季オリンピックで、ロシアオリンピック委員会に対して話題となっている「ドーピング問題」について触れていただきました。実際に、検査員と選手がドーピング検査を実施している様子を紹介していただいた時は、場内から驚きの声が上がりました。高校生に対しても、インターハイ・国体においてドーピング検査が導入されると聞いて、参加した生徒の皆さんは真剣に聞き入っていました。

続いて、薬物の害について大麻をはじめ、詳しく説明していただきました。若者の間では、大麻（たいま）という言葉を使わず、「葉っぱ」や「チョコレート」といった隠語で呼び合っていることなども紹介していただきました。

薬物の使用に対する正しい知識を持って、SNS等で個人情報が狙われたりすることにも注意して、まわりの誘惑に負けることなく、薬物に関わりのない生活をしてほしいと願います。



（大麻についての説明風景）



（フロアにマットを敷いて集中しました）